

2022年度

第2回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和5年2月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第2回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和5年2月22日（水） 10:00～12:30

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・吉川事務局長・柏原教務主任・桐山広報企画部長

○松林校長より

昨年度引っ越しの兼ね合いで仮校舎で過ごした経験、学んだことを活かしながら新校舎にて、慣れながら学校運営を行っている。新校舎で過ごすことで、生徒達も意識が高くなっているように感じている。

今後もより一層ステップアップしていくため、自己評価を反映していきたいので、忌憚ないご意見を出して頂きたい。

【議題】

1. 令和4年度第2回自己評価委員会報告

令和4年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和4年度報告として、教育理念の3項目・学校運営の3項目・教育活動の6項目・学修成果の3項目・学生支援5項目・教育環境の3項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等の遵守の2項目・社会貢献2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、評価4を今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

（基準1）**総括** 環境の整備と並行し教育内容の充実を計り、豊富な技術力と人間性豊かな指導者に成長できる。

その結果各種資格試験の高合格率や各種コンテストにおいて常に全国上位を位置し続けている。

また美容業界で幅広く活躍できる人材を多く輩出している。

- ・生徒満足度向上のため、生徒会中心に企画運営する組織の構築
- ・県内唯一の美容学校として、地元地域の業界全体の発展のため、地元で学び地元で高度な技術を提供できる人材の育成の発展と充実。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では引き続きカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただいている。2学年ではより深くまで習得できるようにアップセット・ネイル・メイク・ブライダル・カットのうち2課目の選択をして授業を行った。
- ・感染者及び濃厚接触者となり自宅待機である生徒には、履修同等の課題を明確にし、学びを止めることなく履修できた。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・コロナ禍影響はあるのか？

→コロナ欠席者用の時間割を作成。履修させたエビデンスをしっかりと対策できている。

リモート環境について各家庭差があり、難しい部分もある。

座学授業に対しリモート対策がまだ不十分であるが、講師より課題提出をして頂き、フォローすることが出来ている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・先生方の仕事量が増え、教育現場の大変さを感じている。前向きに頑張っていてほしい。

今後の改善方策

- ・生徒に不安感や遅れをかんじさせないようにフォローしていく。メンタルサポートの必要性も感じている。

(基準2) **総括** 第8次5か年計画(令和2年～6年)を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機理体制、施設設備の充実を行う。

- ・令和4年3月竣工
- ・採用後も定期的な技術確認や面談を行い、指導内容の充実や意欲向上に務める。
- ・現代に合った教育内容に対応できる人材の確保と育成。
- ・生徒情報管理システムは入学前の生徒募集から卒業後までを管理し、今後の生徒募集にもつながるため、ホームページとの連携も併せて改善が必要である。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・人材不足は大きな問題である。能力差・キャリア差もある中、在校生満足度をあげるためにはリクルートを強化していくべきである。
教員の質をあげる努力や、分業化も必要。先生が1番大切である。
学校支援サロンの協力を上手く活用していくべきである。
- ・今後は、人材教育手当または査定も必要になってくるのでは。そのためには、正当な評価が必要である。
自己評価+第三者評価 人間性やチームワーク力も評価していくべきである。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・求人へのむずかしさは理解している。インディード求人効果あるのでは。
人材育成を投資として考えていく時代である。

今後の改善方策

- ・人材は宝である。大切に育てていくこと。共に成長していける職員体制を整えていく。
人間関係が1番重要である。受け入れていくむずかしさを感じているが、在校生満足度を1番に考え前向きに取り組んでいく。

(基準3) **総括** 即戦力になる人材育成のために、カリキュラム内容や各教科の明確な目標達成と、成績評価を行う。

本年度も「必修選択科目」の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」などの育成を図る。両校で2学年選択授業にカラーとまつげエクステンションを取り入れた。教育活動において、学びの場を止めることの無いように、一人一人の生徒の状況に対応しながら進めていく。

- ・ヘアカラー専門店やメンズ特化サロンなど多様化している美容業界と、興味あるものが絞られている生徒が増えているため、一般的な美容技術+特化した技術を取得することで業界の人材ニーズにむけて方向づけられていく。
特化した技術だけでなく、基礎的知識や技術を習得することが必要である。学ぶ習慣のない生徒にとってもやる気が持続できるように指導していく。
- ・来年度に向け、ヘッドスパ講習、体幹を鍛える、美しい姿勢の講習会を実施する。
- ・時代に沿った、カリキュラム内容を検討しつつ、教職員のスキルアップのための講習を行っていく。
- ・指導力向上に向けて必要に応じて研究会を開き、非常勤講師との連絡を密に取り合い、適切に授業を行う。
- ・学校目標の統一見解・現状把握と問題の共有を行う。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・現場(サロン)に沿ったカリキュラムは本校の特色になっている。いろいろな体験が出来てよい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・生徒が学校カリキュラムを通じて、スキルアップしていくことが大事である。継続して行ってほしい。

今後の改善方策

- ・学校関係者委員の先生方の意見を前向きにとらえ、教育活動は学校として重要な部分であるため、今後に一層、反映させていきたい。

(基準4) **総括**：入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・コンテスト参加者がもっと増えていくとよい。やる気のある生徒をもっと伸ばして行ってほしい。

今後の改善方策

- ・受け入れた生徒を卒業まで責任を持って、指導していきたい。

(基準5) **総括** 新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進する。

- ・ 高等教育修学支援の指定校となっているため、入学生及び在校生へ周知している。
「給付型修学支援」 対象者 1年生17名 2学年7名
- ・長野県からの感染防止マニュアルを基に、本校での感染防止マニュアルを作成し、毎日の健康観察と新しい生活様式を徹底している。実務実習、修学旅行は感染対策を十分に行いながら実施できた。
- ・欠席が多い、授業に集中できないなどの問題のある生徒は、早めに保護者と連絡を取り合い、改善の方向へ行くよう協力して取り組んでいる。
- ・HPなどを利用して、広く卒業生へ支援していける準備をしていきたい。
- ・ヘアメイクアーティスト希望の生徒が増えてきたため、3月14日講師によるセミナー開催予定。
同時に、TOKON協力による就職セミナー（30サロン）開催予定。
1サロンでも多くのサロンとの機会を設け、就職活動の意識を高める。
- ・新2年生対象の就職活動説明会実施予定。(3/3)

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・高等教育修学支援制度希望者が多いとのこと。経済的に厳しい時代である。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・ヘアメイクアーティスト希望者が多いとのこと。・生徒達の目指す職業も分業化している時代である。
多様性を上手くかんじとり、学校の特色を打ち出して行ってほしい。

今後の改善方策

- ・学校の特色として、多くの学び、資格取得ができること。就職内定率の高さ。人間力を高められること。
地元信頼感の高い学校であること。→アプローチのむずかしさはあるが前向きに取り組んでいきたい。

(基準6) **総括** 新校舎で新学期がスタートし、電子黒板やWi-Fiなどを利用し、より分かりやすい授業を行えるように研究している。

新校舎を美しく維持できるよう、隅々までの清掃を心掛け、おもてなしの心を育んでいく。

- ・平等な授業を行うよう調整した。
- ・職員によるものと、外部へ依頼するものを選別して行った。
- ・多様化する美容技術に対応し、感染対策を含めて計画をもって実施していく。
- ・実務実習のサロンと学生の事後アンケートによって実績・教育効果を確認してフィードバックしている。
- ・実習室が充実したため、シャンプー技術を学んだあとに、実務実習に行くことができた。
- ・昨年度に引き続き、オクレンジャーに登録。感染防止対策の他、防災についての連絡を行っている。
- ・全校生徒が避難しやすい校舎であり、避難経路の確認を2回行った。
- ・消防計画作成届出書、消防用設備等点検結果報告書を提出。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・新校舎になり、施設設備が整い素晴らしい。努力してきた結果である。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・海外研修を今後行う予定はあるのか？→海外情勢も鑑みて現状は実施する予定はない。

今後の改善方策

- ・仮校舎での学校生活は、生徒たちにとってとても良い経験となった経験を活かし、新校舎においても質の高い生徒育成に力を入れていきたい。

(基準7) **総括**：令和5年度の入学生の確保は、コロナ禍も落ち着き、昨年度よりも県外流出が懸念された。しかしながら、説明会において本校の特色となる国家試験合格率、資格試験合格率、就職率は100%を掲げ、地元での伝統校としての強みをアピールしたことにより、昨年度よりは若干減少したが概ね例年通りの学生確保が出来た。長野校新校舎の影響も大きいと感じている。

- ・学園HPの充実の一環として、明確な学校の情報を配信するため、インスタグラムを実施している。
- ・学園専用のiPadを購入。高校生と直接情報を交換できるLINE@を開始した。
- ・在校生の満足度を上げ、卒業生の活躍や、美容業界の魅力を伝えて、学生募集に繋げていく。
- ・今年度から生徒会広報係によるインスタグラムの配信を行っており、フォロワー数も増加している。
- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する準備開始している。
- ・令和5年度より実施する特待生・指定校生の入試制度変更内容について高校廻りを実施する準備を開始している。
- ・今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。その方策として、マイナビ・リクナビ等の進学ネット内容を深めていく取り組みを始めている。また、本学園希望以外の美容系希望者に対して、DMチラシを発送した。(3月上旬)
- ・2023年度9月実施予定のビュー・コレ2023の打ち合わせ実施し、具体的な予算化・チラシ制作準備開始している。両校職員に対して打ち合わせ資料準備し、3月23日学園研修時に1回目の打ち合わせを行う。ブックハット3/13実施予定。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・固定観念のみでなく、常にアンテナをはり、流行をおさえていくべきである。就職先の変化にもついていくべきである。面貸しサロンが増加している。ヘッドハンティングの時代である。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・ticketockを活用してもよいのでは。部活動のような自己アピールできる部分をもっと伸ばせる時間も必要では。ダンス部や趣味を深めた方が良い。逆の発想をすることで、アピール力もつく。時代の流れをキャッチして行ってほしい。

今後の改善方法

- ・学校の特色をきちんと伝えられるような広報活動をしていく。委員の先生方から頂いた意見を参考にし、前向きな方策を検討していく。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9)

- ・SNSを上手に使いこなしていくためにも、啓発活動を継続していく。
- ・校舎新設の際にWi-Fi環境の整備とともに、インターネットセキュリティの強化をしている。
- ・重点目標に向かって、課題や解決方法を探りながら問題点の改善に取り組んでいる。年間2回の振り返りの中で、本校の問題点を見つけ、解決するようにしている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10) **総括**:美容科 社会福祉学を学ぶなかで、理美容介助士の資格取得し、体に障害のあるお客様に対応できる介助技術を学んでいる。どなたへもより良い対応ができるよう『准福祉理美容師』『福祉理美容師』の資格を取得できるカリキュラムとなっている。
ビューティビジネス科 上記同様に地域ボランティアとして学んだ技術を提供する来校実習を行っている。

- ・ヘアフェスティバルでは、保護者のほかに地域の皆様にもお越しいただき、技術披露を実施することができた。
- ・第5地区地域推進に賛同していきたい。
- ・SDGsに関心のある生徒が増えている。
- ・オリエンテーションなどで、SDGsや人権についての講習などを行った。
- ・生徒会が中心となり、社会問題への関心と、本校でできる取り組みを積極的に行う。生徒とともに、職員が率先して社会問題に関心を持ち、学校として、美容に携わる者として、また長野県民として何ができるのかを模索できるような環境を作っていく。
- ・韓国メイクのメイクアップアーティストを講師として招き、韓国についても学んだ。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・年間の授業カリキュラム以外にも、トピックス的な流行や時代の流れを感じるセミナーをもっと体験させるべきである。予算も工夫したらどうか。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・SDGS活動の取り組みや意識は素晴らしい。時代の変化を敏感に感じ取ることも必要である。

2. 重点目標について (別紙1参照)

(1) 令和4年度重点目標実施報告

現時点で令和4年度重点目標の実施状況の報告

- ① 「教育活動」 自立した一人の人間として強く生きていくための総合的な力
 - ② 「教育環境の整備」 生徒育成のための教員としての力をつける
 - ③ 「学生募集」 リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善
- 生活習慣の基本、専門的な知識
 - 生徒育成のための教員としての力をつける
 - リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・重点目標に対して、考え・方策が変化していることが大事である。問題なく行われている。
- ・学生を1番に考え、よく見て対応していくことが必要である。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・問題なく適切に行われている。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

(2) 令和5年度実施目標 (別紙2参照)

【 教育活動 】

●生活習慣の基本

相手の立場に立ち、気持ちよい空間をつくれる気遣いができるように育てる。

「整理整頓」「挨拶」「礼儀」、『当たり前前の方が当たり前でできる人に育てる。』

●学び続ける教職員・教職員の技術力向上

教職員自身が更に美容の知識を深め、技術を高めていく

●社会貢献

社会へ関心を持ち、社会とのつながりの中で美容業の貢献と発展を考えていける基礎を作っていく。

【 教育環境の整備 】

●相談できる職員間・生徒育成のための教員としての力をつける

一人一人がクラス問わず注意深く観察することで、その生徒の特長や様子を踏まえて、相談やアドバイスが自然にできる。様々な生徒がいるため、何が正解か難しいのだから、決して否定せず、生徒の今後のためになることを一緒に考えられる職員間が大事。

●生徒も職員も学校が楽しいと思える雰囲気

【 学生募集 】

●リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善

他校や他業種などの情報収集しつつ、生徒の新しいアイデアや行動力、連携など係活動がスムーズに行えるようフォローしていく。

●在校生、卒業生、業界と共に魅力を発信

少子化に向け学生募集に関しては特別な対策を施していかなければならない。新校舎や協力してくださる卒業生やサロンを最大限に生かし、オープンキャンパスに参加した高校生の満足度を高め、在校生や、卒業生の満足度を高める。HPを活用し、卒業生のブログや訪問時の写真であったり、在校生へ向けてのメッセージなどもオープンにし、在校生・卒業生やサロン様ともネットワークを作ることによって大きな「美容を通じた家族」に成れることを目指したい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・職員の学びという部分が1番重要である。在校生満足度を高め、特色ある学校になってほしい。できることはなんでも協力していきます。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・重点目標をきちんと考えられているので、目標達成に向けて頑張ってもらいたい。
- ・新しい時代・環境に合わせてアプローチ方法を変化させていく必要もあるのでは。
- ・教育とは、適材適所が重要。変化の時である。
- ・卒業生をもっと活用していくべきである。地元サロンを上手く活用していけば、お互いに利点があるのでは。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

3. 次回予定

令和5年度第1回学校関係者評価委員会 令和5年8月2日(水) 13:30～